

平成22年度 南丹市予算 総額307億2,723万円

(前年度対比7.4%減)

八木町(亀岡市三郎ヶ岳から撮影)

優先施策 5つのキーワード

- ①安心して子育てできるまちをめざす (P6~)
- ②医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する (P6~)
- ③ふるさとで働ける場をふやす (P7~)
- ④南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる (P7~)
- ⑤行財政改革を推進する (P7~)

平成22年度の当初予算は、市長選挙を控えていたため、扶助費や人件費などの義務的経費をはじめ、市民生活に支障をきたさないように、必要な事業を中心とした骨格的な予算編成となっており、昨年度のテーマ「地域の元気づくりから人々の笑顔へ」から、平成22年度は、さらにこの人々の笑顔が「市民の元気づくり」に発展する「取り組みに特に配慮しながら、一昨年から始めた行政評価を踏まえた優先施策を中心に、それぞれの事業を予算化しました。

平成21年度は長年の悲願であり、市の発展に欠かすことのできないJR山陰本線京都―園部間の複線化が完成・開業され、安心して暮らせるまちづくりを推進するための地域情報通信基盤整備など、旧町からの継続事業を一定完了することができました。

併せて、深刻化する少子高齢化に対しては、旧町で先進的に取り組んでいた制度・事業を継承しながら新たな課題への対応も行って

きました。

こうして「新たな南丹市のまちづくり」は、市民の皆さんと共に育てながら芽生えてきたところ

です。

今後、この芽をさらに大きく育てるため、市民の皆さんと行政が知恵と力を合わせて連携しながら、住んでよかったと思えるまちづくりを進めていきます。皆さんの積極的な市政への参加をお願いします。

市民の元気づくりに向けて

<予算額内訳>

(単位未満四捨五入)

会計名	予算額
一般会計	194億1,800万円
特別会計	105億6,180万円
国民健康保険事業	34億4,520万円
老人保健事業	660万円
介護保険事業	29億8,360万円
市営バス運行事業	4,570万円
簡易水道事業	6億4,530万円
下水道事業	28億4,030万円
土地取得事業	1億3,740万円
後期高齢者医療事業	4億5,770万円
上水道事業会計	7億4,743万円
合計	307億2,723万円